

Fujitsu Integrated System PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud 設定変更手順書

本書について

本書は、Fujitsu Integrated System PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud (以降、PRIMEFLEX for Nutanix)の設置と電源ケーブル接続後、クラスタを構築開始する前に工場出荷されてきた状態から、最初に設定変更が必要な箇所について説明します。

注意：下記の PRIMEFLEX 構築サービスをご利用された場合は、本書の手順は実施不要です。付録を参照してください。

- PRIMEFLEX for Nutanix(AHV クラスタ) 基本構築サービス
- PRIMEFLEX for Nutanix(AHV クラスタ) ノード設定サービス




対象のモデルについて

本書の対象のモデルは、以下になります。

- XF1070 M7
- XF3070 M7
- XF8050 M7
- XF8055 M7

本書の表記について

- 重要な注意事項の一覧
本書に記載している重要な注意事項は以下のとおりです。

| | |
|---|--|
|  ヒント | 概念の理解や操作の手助けとなる情報であることを示しています。 |
|  注 | 概念の理解や操作における注意事項であることを示しています。 |
|  警告 | 正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。 |

- 変数：<xxx>
使用環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。
例：<IP アドレス>

設定に必要な機材

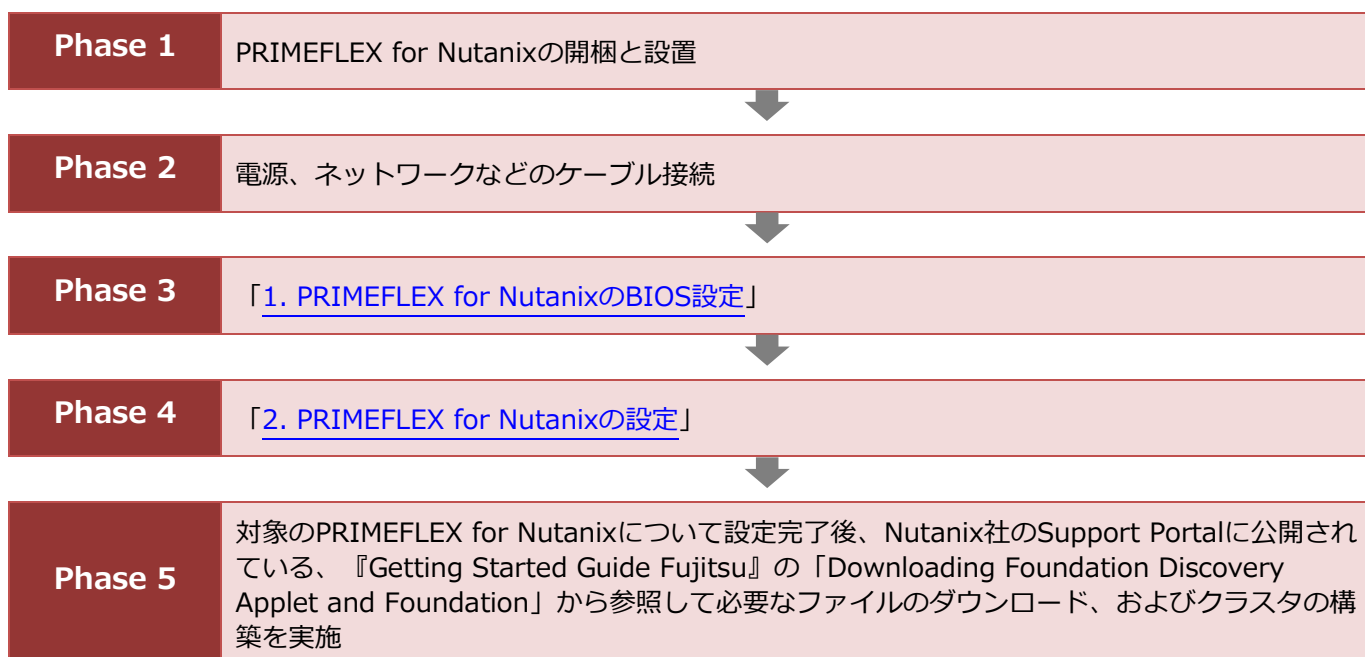
本設定に必要な機材は、以下になります。事前に準備してください。

- キーボード
- ディスプレイ
- クライアント端末

本書とクラスタ構築までの流れについて

クラスタ構築開始までの全体の流れを以下に示します。

本書では「Phase 3」と「Phase 4」について記載します。



1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定

工場出荷時は全ての PRIMEFLEX for Nutanix に同じ iRMC の IP アドレスが設定されています。
設定対象の PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 画面より一台ずつ、個別の iRMC の IP アドレス設定をしてください。



注

全ての PRIMEFLEX for Nutanix に同一の IP アドレスが設定されているため、この時点では PRIMEFLEX for Nutanix とスイッチは接続しないでください。

手順

1. BIOS セットアップ画面を開き、[Information]を選択し、System Date/System Time を UTC(日本時間-9 時間となる日時)に設定します。
2. [Management] - [iRMC LAN Parameters Configuration] を選択し、[Enter] キーを押下します。
3. 次のように設定します。

| 設定項目 | 設定値 |
|---------------------|--|
| Management LAN | <Enabled> |
| iRMC IPv4 LAN Stack | <Enabled> |
| IP Configuration | <use static configuration> |
| IP Address | 当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の IP Address を設定してください。 |
| Subnet Mask | 当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Subnet Mask を設定してください。 |
| Gateway Address | 当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Gateway Address を設定してください。 |
| iRMC IPv6 LAN Stack | <Disabled> |

4. [Esc] キーを押し、前のメニューに戻ります。
5. [Exit] タブを選択し、[Commit settings and Exit] を選択します。
6. 確認画面で [Y] キーを押下します。
BIOS 設定画面が完了したら、PRIMEFLEX for Nutanix の電源を停止します。
7. すべての PRIMEFLEX for Nutanix で手順 1~6 を繰り返します。

設定完了後、PRIMEFLEX for Nutanix をネットワークケーブルで、お客様のネットワークスイッチに接続してください。

2. PRIMEFLEX for Nutanix の設定

「[1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定](#)」で設定した iRMC の IP アドレスを使用して、各 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC に接続します。ここでは、iRMC のパラメーターを構成します。

コンポーネントの準備

■ Java

iRMC のビデオリダイレクション (AVR) で使用します。

以下の URL から『AVR の起動手順と動作確認情報』を参照してください。

- FUJITSU Server PRIMERGY における留意事項

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

■ Web ブラウザ

Web インターフェイス・アクセスに使用します。「Mozilla Firefox」または「Google Chrome」が使用可能です。

作業に使うクライアント端末を、PRIMEFLEX for Nutanix とネットワークスイッチに接続されているネットワークに接続してください。クライアント端末から、iRMC Web インターフェイスへアクセスしてください。iRMC Web インターフェイスのデフォルト・ログインは以下のとおりです。

| 項目 | 入力値 |
|---------------|--|
| Web ブラウザの URL | https://<iRMC の IP アドレス>/ |
| ユーザー名 | admin |
| パスワード | 工場出荷時のパスワードは『Nutanix Acropolis OS インストールオプション はじめにお読みください』を参照してください。 |

2.1. iRMC Local Accounts

iRMC Web インターフェイスで使用されるデフォルトの [admin] アカウントのパスワードを、お客様が決められたパスワードに設定する必要があります。

手順

1. iRMC Web インターフェイスにアクセスします。
2. Password Change 画面で、次の内容を設定し、[Apply] を選択します。

| 設定項目 | 設定値 |
|------------------|----------------|
| Username | admin (変更不可) |
| Password | お客様が決められたパスワード |
| Confirm Password | お客様が決められたパスワード |

3. EULA 画面が表示された場合、[Accept] を選択します。

2.2. iRMC DNS 設定

手順

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Settings] - [Network Management] - [DNS] を選択します。
3. 以下の設定を行って、[Apply] を選択します。

| 設定項目 | 設定値 |
|-------------------|--------------------------------------|
| Enable DNS | オン (デフォルト) |
| DNS Configuration | オフ (デフォルト) |
| DNS Domain | お客様環境でご利用の Domain 名 |
| DNS Search Path | お客様環境でご利用の Domain 名 |
| DNS Server 1 | お客様環境でご利用の Domain Server (Primary) |
| DNS Server 2 | お客様環境でご利用の Domain Server (Secondary) |
| DNS Server 3 | 空欄 (デフォルト) |
| DNS Retries | 2 (デフォルト) |
| DNS Timeout | 5 (デフォルト) |

2.3. iRMC NTP 設定

手順

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Settings] - [Baseboard Management Controller] - [Time Synchronization] を選択します。
3. 以下の設定を行います。

| 設定項目 | 設定値 |
|----------------------|-----------------------------------|
| Time Mode | "NTP Server" |
| RTC Mode | グレーアウト(デフォルト) |
| Time Zone | 装置設置場所に準じた Timezone を設定してください。 |
| Primary NTP Server | お客様環境でご利用の NTP Server (Primary) |
| Secondary NTP Server | お客様環境でご利用の NTP Server (Secondary) |

4. [Apply] - [NTP Update] を選択します。

2.4. MAC アドレスの確認

手順

1. Web ブラウザで iRMC にログインします。
2. ページヘッダーの System power button が緑色 (🟢) であることを確認します。赤色 (🔴) の場合は、[Power On] を選択します。
3. ページヘッダーから [System] タブを選択し、左ペインから [Network] を選択し、[Network Adapter] を展開します。
4. ネットワークカードを展開し、Ports を展開し、Default Virtual Switch (vs0) で使用する Port の Associated Network Addresses (MAC アドレス) を記録します。

5. 手順 4.を繰り返し、Default Virtual Switch (vs0) で使用する Port の MAC アドレスをすべて記録します。

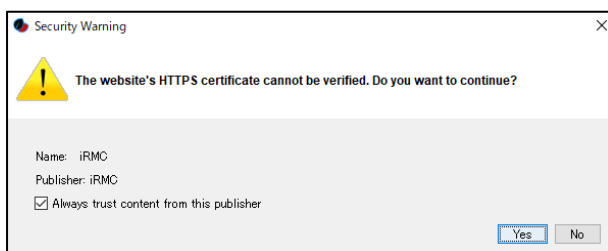
2.5. OS の設定

手順

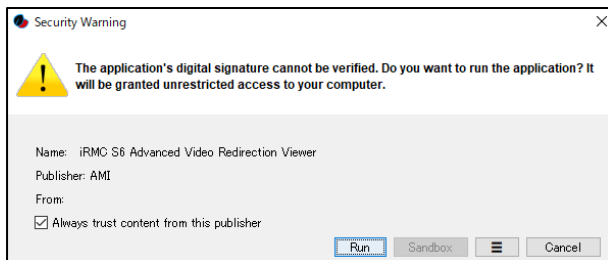
1. iRMC Web インターフェースにアクセスし、[Start Video Redirection] をクリックし、ビデオリダイレクションを起動します。

- Security Warning 画面が表示された場合

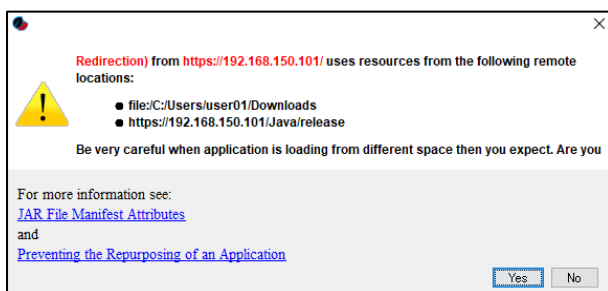
a. iRMC の Security Warning 画面が表示された場合、[Always trust ...] にチェックを入れ、[Yes] を選択します。



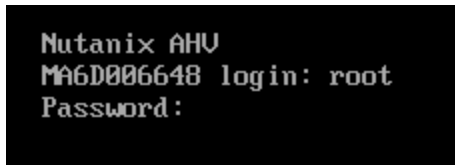
b. iRMC S6 の Security Warning 画面が表示された場合、[Always trust ...] にチェックを入れ、[Run] を選択します。



c. [Yes] を選択します。



2. 次の画面が表示されるので、次の内容でログインします。



| 項目 | 入力値 |
|----------|------------|
| login | root |
| Password | nutanix/4u |

3. 次のコマンドを実行します。

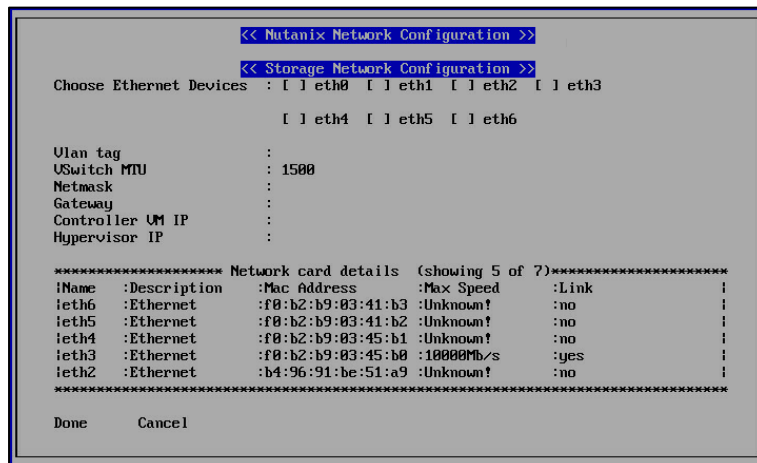
```
root@ahv# /root/nutanix-network-crashcart/network_configuration
```



注

すべてのサービスが起動する前にコマンドを実行すると、設定画面が起動しない場合があります。しばらく待ってから再度実行してください。

4. 次の内容を設定し、[Done] を選択します。



| 設定項目 | 設定値 |
|-------------------------|--|
| Choose Ethernet Devices | Network card details 欄を参照し、「 2.4. MAC アドレスの確認 」で記録した MAC アドレスに対応する Name を 2 つ以上選択する |
| Vlan tag | (空欄) |
| VSwitch MTU | 1500 (デフォルト) |
| Netmask | 「 1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定 」で設定した、当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Subnet Mask を設定してください。 |
| Gateway | 「 1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定 」で設定した、当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Gateway Address を設定してください。 |
| Controller VM IP | 当該 PRIMEFLEX for Nutanix の Controller VM の IP を設定してください。 |
| Hypervisor IP | 当該 PRIMEFLEX for Nutanix の Hypervisor の IP を設定してください。 |

5. 処理が完了し、以下のメッセージが表示されることを確認します。

```
"INFO Network configuration successful!"
```

6. 次のコマンドを実行し、ログアウトします。

```
root@ahv# exit
```

-
7. ビデオリダイレクションを終了します。
 8. クライアント端末から、設定した Controller VM IP や、Hypervisor IP に ping コマンドを発行して、疎通確認をしてください。確認ができない場合は、再度、手順 1.から実施してください。
 9. すべての PRIMEFLEX for Nutanix で「[2. PRIMEFLEX for Nutanix の設定](#)」の作業を実施します。

以上で、クラスタ構築前の設定変更は終了です。